



国際岩の力学学会2014年国際シンポジウム —第8回アジア岩の力学シンポジウム—

2014 ISRM International Symposium

ARMS 8

8th Asian Rock Mechanics Symposium
Rock Mechanics for Global Issues
— Natural Disasters, Environment and Energy —

2014年10月14-16日, 札幌

主催
(一社)岩の力学連合会, 国際岩の力学学会

共催
(公社)土木学会, (公社)地盤工学会, (一社)資源・素材学会,
(公社)日本材料学会

後援
国土交通省北海道運輸局, 国土交通省北海道開発局, 北海道,
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構,
(独)日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター,
東日本高速道路(株)北海道支社, 北海道電力(株)



組織委員会

清水則一(山口大学), 委員長
金子勝比古(北海道大学), 学術委員会委員長
岸田 潔(京都大学), 幹事長
川崎 了(北海道大学), 副幹事長
アイダン・オメル(東海大学)
芥川真一(神戸大学)
石田 毅(京都大学)
尾原祐三(熊本大学)
川北 稔(ドーコン)
蔣 宇静(長崎大学)
廣川誠一(北海道開発局)
藤井義明(北海道大学)
真下英人(土木研究所)
山口 勉(東邦大学)

青木智幸(大成建設)
五十嵐敏文(北海道大学)
伊東佳彦(寒地土木研究所)
風間 優(鹿島建設)
京谷孝史(東北大学)
新 孝一(電力中央研究所)
福井勝則(東京大学)
古谷恵一(北海道電力)
森本知久(石灰石鉱業協会)

国際委員会

Xia-Ting Feng, ISRM総裁
David Beck (オーストラリア)
John Hudson (英国)
Luís Lamas (ポルトガル)
Pawel Nawrocki (中東アジア)
Krishna Kanta Panthi (ネパール)
Qihu Qian (中国)
John Tinucci (米国)
Ivan Vrkljan (クロアチア)
Yingxin Zhou (シンガポール)

Yossef H. Hatzor (イスラエル)
Seokwon Jeon (韓国)
Jacques Lucas (南アフリカ共和国)
Yuzo Ohnishi (日本)
Frederic Pellet (フランス)
Antonio Samaniego (ペルー)
Manoj Verman (インド)
Ridho Kresna Wattimena (インドネシア)

会場

ロイトン札幌 〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西11丁目

シンポジウムホームページ

<http://www.rocknet-japan.org/ARMS8/>
(最新の情報は順次ホームページにアップします)

連絡先

〒112-0011 東京都文京区千石4-38-2(地盤工学会内)
一般社団法人 岩の力学連合会 ARMS8事務局
E-mail: arms8@rocknet-japan.org
(問い合わせは電子メールでお願いします)

(英文Bulletin No.2 もあわせてご覧ください。シンポジウムホームページからダウンロードできます。)

ごあいさつ

このたび、岩の力学連合会は、国際岩の力学会(ISRM)の2014年国際シンポジウム“ARMS8”を開催することとなりました。シンポジウムのテーマは、「地球規模諸課題への岩の力学の貢献—自然災害、環境、エネルギー問題—」です。この新しいテーマとともに、岩の力学に関する広い分野の最新の成果、技術、知識、事例などを結集し、国内外の交流を深め、今後の展望を拓くことを目的としています。岩の力学分野に関係する皆様はもちろんのこと、幅広く多くの方々のご参加と、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

組織委員会委員長 清水則一 (山口大学)
学術委員会委員長 金子勝比古 (北海道大学)

シンポジウムトピックス

- 自然災害、防災と減災
地震および岩の動力学、リスクマネジメント、斜面安定など
- 環境問題
二酸化炭素地中貯留、放射性廃棄物処理、岩の熱—水理—力学—化学連成問題など
- エネルギー・資源
資源・石油工学、新エネルギー、地熱エネルギー、エネルギー貯蔵など
- 新技術と基礎的課題
岩の性質、試験・調査法、設計、現場計測、トンネル、地下空洞、斜面、維持管理、大深度掘削、数値解析など

基調講演

Prof. Xia-Ting Feng (ISRM総裁, The Chinese Academy of Sciences)
—トンネルと地下空洞の建設—中国の挑戦と進歩—

Mr. Rolf Christiansson (Swedish Nuclear Fuel and Waste Management Co., Sweden)
—放射性廃棄物処理の環境への影響—中間貯蔵から最終処分まで—

Prof. Derek Elsworth (Pennsylvania State University, USA)
—液体・ガスの注入による新エネルギーの抽出—

Prof. Seokwon Jeon (Seoul National University, Korea)
—岩盤掘削機の性能評価—

Prof. Toshifumi Matsuoka (Kyoto University, Japan)
—二酸化炭素の回収・分離における岩石物理学の貢献—

Prof. Surya Parkash (National Institute of Disaster Management, India)
—インドの地盤災害リスクマネジメント—

Prof. Ernesto Villaescusa (The Curtin University of Technology, Australia)
—大深度地下掘削のための岩盤支保技術の研究—

ISRMフランクリンレクチャーおよびロジャメダル講演については、2013年9月にお知らせします。

ワークショップ・ショートコース

岩盤工学と環境(五十嵐敏文教授, 北海道大学), 不連続性岩盤の解析(DDA委員会, ISRM), 岩盤の熱—水理—力学—化学連成の新しいプロセス(THMC委員会, ISRM)など。

論文募集

論文は、まず、論文概要によってお申し込みください。概要は用紙サイズをA4として、英文で、①論文タイトル、②著者の氏名と所属、③キーワード(シンポジウムトピックスを含み4~5語を記載ください)、④概要(英文300語程度。研究目的、結果、重要性、新規性等を明記)、⑤連絡先(代表著者の氏名と所属、Eメールアドレス)、を記載しPDF形式で下記のシンポジウム公式サイトから電子投稿してください(論文・概要投稿システムは2013年11月からオープン予定)。

<http://www.rocknet-japan.org/ARMS8/>

論文は審査委員会において、投稿いただいた分野の複数の専門家によって審査します。論文(フルペーパー)投稿は概要採否決定後、あらためてお知らせします。

論文投稿のプロセスと日程

概要投稿締切: 2013年12月末
概要採否通知: 2014年1月末
論文投稿締切: 2014年6月末
最終採否通知: 2014年7月末

登録費

岩の力学連合会会員: 50,000円
非会員: 65,000円
学生: 20,000円
同伴者: 10,000円

プログラム

	10/12(日)	10/13(月)	10/14(火)	10/15(水)	10/16(木)	10/17(金) (& 18(土))
午前	ISRM理事会 ワークショップ ショートコース	登録受付 ISRM技術委員会 ワークショップ ショートコース	開会式 基調講演 ISRMフランクリン レクチャー 技術展示	基調講演 ロジャメダル 受賞記念講演 一般発表 ポスターセッション 技術展示	基調講演 一般発表 ポスターセッション 技術展示	現場見学
午後		登録受付 ISRMカウンシル会議 ワークショップ ショートコース	一般発表 ポスターセッション 技術展示	一般発表 ポスターセッション 技術展示	一般発表 ポスターセッション 技術展示 閉会式・表彰式	
夕刻		歓迎レセプション	若手交流会	バンケット		

現場見学

幌延深地層研究センター、京極純揚揚水式発電所、北海道新幹線および高速道路トンネル、岩盤斜面、ジオパークなどいくつかのコースを準備しています。

展示募集

シンポジウム会場において技術展示会を開催します。募集要項はあらためてお知らせします。